



楽しさの中で 生きた手話を学ぶ

第42回のインタビューは
手話サークル「ぽぽんた」
のみなさんです



まえかわ えみ
代表は 前川 江美さんです。



サークル活動の様子

子どもが小学校入学時、ろう者の保護者がいて、私自身話をしたいなと思っ
て小学校の保護者とうろう者で立ち上げ
ました。

手話サークル「ぽぽんた」を結成
したきっかけを教えてください

当時は旧小方小学校の教室で活動しておりました。しかし、小学校移転に伴い校内での活動が出来なくなつたため、社会福祉協議会のボランティア団体に所属し、今に至っております。

メンバーの構成、
人数などは

現在は代表1名、副代表1名、会計1名、会員7名の計10名です。

活動状況をお聞かせください

毎月第2、第4月曜日の10時から12時まで、定例会を総合福祉センター(サントピア大竹)で開催しています。

依頼があれば市内どこへでも伺い、手話出張教室を行っています。

活動の中で楽しかった。これは困った。など思い出に残るエピソードなど教えてください

楽しかったことは、他の地域の手話サークルと外に出て交流会をしたことです。また、コロナ禍で延期になっていた合同研修会を、昨年開催できたことです。コロナ禍でも楽しめる内容を、大竹の3つのサークルで協力して考え、できた研修会は、苦労しましたが楽しい思い出です。

困るのは、教えてもらえるろう者の方がお仕事の都合などで活動に参加できない時、聴者だけでの勉強会だと



合同研修会の様子

生きた手話が学べないことです。やはり、生きた手話を学ぶことが大切だと思います。

手話を学びたい人が気軽に参加
できますか

ぜひ参加してみてください。手話を学ぶことはとても楽しいです。気軽に始められます。なんと、世の中には70歳で手話を始めた方もいらっしゃいます。

ぽぽんた一同、お待ちしております。

今後の目標や伝えたいことなどあればお願いします

手話は言葉(言語)なので、外国語を学ぶのと同じで簡単ではないと思います。自分たちの覚えた手話がろう者に伝わり嬉しくなり、もっと伝えたいという気持ちで覚えていけると思います。手話も日本語と同じで方言があり、大竹独自の手話もあります。

当サークルは、資格に向けた勉強会ではなく、ろう者との会話の中で日常会話を身につけて行く場です。また、情報交換の場でもあります。

ろう者と共に活動している団体なので、今は「手話言語条例」が制定される
ことが目標です。

【お問い合わせ】

大竹市社会福祉協議会 地域福祉課

TEL 0827-521275



あとがき

この度の議会改選により、新しく議員になった方5名を含め、各議員が所属する常任委員会や特別委員会のメンバーが決まりました。広報広聴特別委員会においても、新しく議員になった方を含めた7人で担当することとなりました。新メンバーで協議を重ね、「広報広聴」という名のとおり、大竹市民の皆様には議会情報を発信し、意見や要望をヒアリングする活動を致します。

前号から始めました市議会だより表紙画像の募集をしておりますので、皆さんの応募をお待ちしております。

市議会だよりを手にとっていたただけのように、努力してまいります。

藤川 和弘

広報広聴特別委員



委員長 藤川 和弘
副委員長 中川 智之
中野 友博
豊川 和也
山代 英
小出 哲義
末 末 天

市議会だよりは市ホームページにも掲載しています。

